

第21回大口町地域交通推進会議（大口町地域公共交通会議）議事録

日時 令和2年6月29日

午後2時00分 開会

場所 大口町役場3階第5委員会室

◇出席委員

松尾幸二郎会長 近藤時男委員（職務代理者） 伊藤浩委員 服部良一委員
山田吉昭委員 近藤幸男委員 前田一紀委員 大森邦代委員 酒井貞夫委員 馬場輝彦委員
長谷川裕修委員（代理 小林氏） 鈴木隆史委員（代理 吉留氏） 小林裕之委員（代理 栗木氏）
大矢玄康委員（代理 小笠原氏） 松浦秀則委員 工藤彰郎委員

◇欠席委員

澤木徹委員 大口町副町長（不在）

◇出席職員

地域協働部長兼町民安全課長 佐藤幹広
町民安全課 主査 清水学
町民安全課 主事 平子靖子

◇議 事

- 1 開会
進行 町民安全課 主査 清水
- 2 町長挨拶
公務により不在のため、地域協働部長兼町民安全課長が代理で挨拶
- 3 会長挨拶
松尾幸二郎会長
- 4 協議事項（詳細別紙）
 - （1）令和元年度 大口町コミュニティバス事業報告
 - （2）大口町コミュニティバス 運行の目的および目標について
- 5 その他
- 6 閉会

◇協議事項

(報告事項)

(1) 大口町コミュニティバス 事業報告 (令和元年度)

報告者：事務局 町民安全課主事 平子

【資料1に基づき報告】

■令和元年度 大口町コミュニティバス事業報告

1 目的

「コミュニティバス運行サービスの質を低下させることなく運行経費に係る町負担額の低減を図る」

2 前年度 (平成30年度実績)

町負担額とは、運行経費から運賃や運行支援費・広告料、県の補助金などの収入を差し引いたもの。
平成30年度の町負担額は4123万9449円。一般利用者数は12万3183人。

3 目標

4 活動計画

「4活動計画」に基づき令和元年度の目標を設定した。

近年の実績を考慮し、昨年度に比べて運賃収入および広告収入の目標値を増、広告収入および運行支援費の目標値の減を行った。

5 実施状況・結果

(1) 運行支援協定

運行支援費は1社減の6社及び江南市の全7団体から合計300万円の収入

(2) 有料広告の掲載

有料広告はバス停標識が継続28基 (昨年度から2基減) で合計168万円の収入で、車内広告が運転席後部2枠で4万2500円の収入、車両ラッピングは固定枠、出来高枠、マグネット広告を合わせて96万8000円の収入となった。

(3) 協定企業のニーズの把握と利便性向上の取り組み

協定企業からの要望や利用者の意見を参考に、全ルートで時刻等の改正をした。

(4) コミュニティバスの運行の目的及び目標を新たに検討

6 協働事業

特定非営利活動法人「まちねっと大口」と協働で、平成24年度にコミュニティバスの応援ボランティアを一般から募集し、コミュニティバスサポート隊 (通称バスサポ隊) を結成。

利用者側からの目でコミュニティバスの利便性向上を目指し、乗車人数の更なる増加を目的に活動を続けている。

令和元年度には、実際に運行するバスを利用して町内を巡るバスツアーの企画・実施を行い、ふれあ

いまつりでのブース出展や無料 DAY の PR やアンケートの実施、実際にバスに乗車して発着時刻や業務態度等の調査を行った。また、新たな取組みとして大口西小学校の総合的な学習の時間において、大口町プロモーション戦略の一環で大口町コミュニティバスおよびバスサポ隊の紹介を行った。

7 効果の確認

令和元年度の運行経費→6 3 5 9 万 3 0 6 0 円

収入計→1 9 8 8 万 8 2 0 0 円

差し引いた金額である 4 3 7 0 万 4 8 6 0 円 が令和元年度の町負担金額。

3「目標」のとおり、町負担額 4 3 0 6 万円台の目標と比較し、目標を達成することができなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響が出ていると思われる（※）。

運賃収入	1 3 1 9 万 7 7 0 0 円	(目標比 9 7. 9%)
広告収入	2 6 9 万 5 0 0 円	(目標比 9 5. 7%)
運行支援収入	3 0 0 万円	(目標比 9 7. 1%)
乗車人数	1 1 万 8 1 4 3 人	(目標比 9 0. 9%)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響

一般利用者数(パスカードを除く)は、4月～1月までは前年度比 9 9%～1 1 1%となっているが、2月は前年度比 8 7%、3月は 7 7%とおおきく減少している。

8 反省・今後の進め方

バスサポ隊と連携し、利用者の満足度向上を引き続き図っていく。

無料 DAY の実施により、利用促進および利用ニーズの調査・研究を行う。

<質疑応答>

・【松尾会長】新型コロナウイルス感染症の影響は想定外であるが、それまでにやってきたことについては、適切に評価する必要がある。4月～1月までの目標値および実績値をみると、令和元年度のパスカードを除いた利用者数の推移は、昨年度よりも高い数値で推移しているが、全体で見ると昨年度よりも減少しているのはパスカードの影響か。

→【平子主事】運行支援協定の解除があったため。パスカードを除いた一般利用者は増えている。

→【松尾会長】一般利用者は、新型コロナウイルス感染症の影響が出る前は増加傾向にあったので適切な理解をお願いしたい。また、7月が増加しているが理由は子どもの利用か。

→【平子主事】子どもの利用が増えていたので、それに伴い家族が利用することで利用者が増えたのではないかと思われる。

→【松尾会長】バスサポ隊が中心となって行ってきた周知活動の効果が出てきているともみえる。

・【松尾会長】高校生や中学生など通学での利用はどれくらいあるか。また、今回、大口町周辺の学校も

含めて新型コロナウイルス感染症の影響で休校となっていたものが6月から開始すると思われる。いろいろな地域で話を聞くと、いままで公共交通で通学していた生徒が、新型コロナウイルス感染症が怖いので公共交通ではなく送迎で通学するという話を聞く。バス事業者はかなり対策をしていると思うが、それがあまり伝わっていない可能性があり、実際、公共交通でクラスターはほとんど発生していないので、学校を通じてや直接など周知をする機会があるとよいと思う。何か検討はしているか。

→【平子主事】学生の利用については、大口町コミュニティバスの利用形態が小学生以下無料で、それ以外は100円もしくは回数券等での集計を行っているので、学生がどれくらい利用しているのかは把握できていない。大口町周辺にある高校付近は、通学時間帯でのバスの発着がないため、利用はほとんどないと思われる。学校に対する周知については、検討していなかった。今回いただいた意見をもとに方法を検討していく。

→【松尾会長】名古屋方面に行く学生がいると思うが、柏森駅や江南駅は送迎が可能な距離であるため、公共交通から送迎に変更している可能性があるため心配。

・【鈴木委員（代理 吉留氏）】補助金の100万円は、利用者数や運賃収入の影響はなく定額なのか。

→【平子主事】上限である100万円の申請をして交付を受けている。

(承認事項)

(2) 大口町コミュニティバス 運行の目的および目標について

報告者：事務局 町民安全課主事 平子

【資料2に基づき報告】

令和2年度2月7日付「第20回大口町地域交通推進会議（書面開催）」において、大口町コミュニティバス 運行の目的および目標を定めたが、単年度ごとの具体的な数値目標と数値には表れない取組としての目標を設定する。

なお、数値目標の乗車人員および運賃収入の設定については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、新型コロナウイルス感染症の影響が1年間継続した場合（A）と8月以降回復した場合（B）を想定して、最大と最小の目標値を設定する。

<質疑応答>

・【松尾会長】昨年度の目標は13万人で、新型コロナウイルス感染症の影響は関係なく達成できていないので、今回の目標は、13万人の目標を減らして、さらに新型コロナウイルス感染症を考慮したのか。

→【平子主事】今回の目標値は、昨年度までの13万人の目標は考慮しておらず、令和元年度の利用実績をベースに算出している。

→【松尾会長】新型コロナウイルス感染症を考慮しなかった場合の目標値は。

→【平子主事】13万人である。

→【松尾会長】目標値は、過去3年と同様の値を保つが、新型コロナウイルス感染症の影響があるから下げるとのことか。

→【平子主事】はい。

→【松尾会長】達成できそうか。目標であるので、達成が難しいのであれば、13万人の目標を見直す必要もあり、また、長期的な目標として13万人とする考え方もあると思う。

→【佐藤部長】総合計画（10年）の中で下方に向かうような目標ではなく、右肩上がりを想定して設定しており、今年度は13万人でその中間点にあたる。現状を見ると、そこまで追い付いていないのがここ数年の実績であり、計画目標と少しずつかい離している現状を感じており、今回は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して現実に近い形で算出を行ったため、達成していきたい。

→【松尾会長】昨年度の利用が約12万人であったので、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮せず通常であれば13万人は達成できる想定なのか。

→【佐藤部長】総合計画の中での中間点の目標値が13万人で、当初にたてた目標値であり、実績は少し下回っているが、目標として目指すにはいい数値ではないかと考える。

→【松尾会長】評価をする際に、高い目標を設定していると届かなくても仕方ないという議論になってしまうと、目標としての意味をなくしてしまうため、13万人が達成できないと明らかであれば、現実的な目標をたてて取組む必要があると思う。

・【山田委員】取組目標の中の企業に対するPRについて、町としてどのような魅力をアピールするのか。それなりのメリットが見いだされないと企業も動くことが難しいと思う。どのように考えているか聞きたい。

→【佐藤部長】支援をいただいている企業については、定期的に訪問して情報交換をする中で話し合いをし、要望等を伺って可能な限りダイヤ等見直しを行っている。具体的にコミュニティバスの有用性のPRについては、そういったことでしかないと思う。

→【山田委員】バス広告を例にすると、ラッピング広告だけではなく車内広告であれば金額も抑えてPRできると思われ、ラッピング広告についても、掲出するスペースがなく無理だろうと企業で判断してしまう部分もあるかと思うので、各企業を訪問した際に、広告枠がどれだけ空いているかという情報を伝えることもPRのひとつになるのではないかと。また、運行支援費というものは金額も含めどういったものか。

→【平子主事】運行支援費につきましては、バスの利用に関する協定になっており、支援金は、利用する人数によって決めている。また、協定締結企業の利用者の方へパスカードを発行している。

→【山田委員】現在協定を締結している企業以外の枠はあるのか。

→【平子主事】新たな企業とも話をさせていただきたいところではあるが、コミュニティバスは4台で走行しているため、現在のルートからかなり離れていると難しい部分もあるが、各企業の要望等話し合いをして調整させていただきたいと思う。

→【山田委員】そういった情報もコミュニケーションをとってディスカッションできればいいと思う。例えば中部ルート上には多数の企業があり、新型コロナウイルス感染症等の影響で時差出勤等も出てきている。PRという話の中で、いろいろな切り口から働き掛けをしてもらえれば、広告収入や乗車の話がもう少し展開できると考える。

→【松尾会長】公共交通会議に企業の方が参加されているのは珍しく、大口町の特徴であると思う。ぜひ情報提供をしっかりともらい、運行支援等をさらにつなげていけるような議論をできればと思う。企業側としてもメリットがわからないとなかなか参画しにくいと思うので、現在協定を締結している6社がどのような点にメリットを感じているのか整理すると、次にアピールする際の材料となる。

→【平子主事】車内広告について、新型コロナウイルス感染症で売上減少等の影響を受けている事業所等を応援するため、車内の窓枠上部の広告枠に無料で掲出できるよう準備を進めている。平成23年度から掲出実績がゼロのため、企業支援とともに広告枠のPRになると思う。ホームページと広報おおぐち8月号に掲出予定である。

・【鈴木委員（代理 吉留氏）】利用者層や目的地等の把握について、アンケート等は実施しているか。理由として、利用者の目的も変わってきていて、最適だと思っていたダイヤが実際と違っているという場合がある。生活様式自体が変わってきて、前年度と比較してということが今後は難しくなってくる可能性があるので、どこかで利用目的等の実態調査をした方がよいのではないか。

→【平子主事】大規模な実態調査を実施する予定はないが、無料DAY実施の際にアンケート調査を行う予定である。ただし、車内でアンケート用紙を配布するため、利用者の方の声を聞くことがメインになる。また、バスサポ隊と協働で、各地域で開催するイベント内でPRする際にアンケート調査を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント自体が中止になる場合が多く、アンケートができない可能性もある。しかし、アンケートを実施する際には、項目を追加する等検討したいと思う。

→【鈴木委員（代理 吉留氏）】次回の会議で結果等は報告してもらえるか。

→【平子主事】報告する。

→【松尾会長】地域公共交通計画の策定が法改正により努力義務となる。アンケート調査を適切に実施しようとする事務局だけでは難しく、コンサルタント業者に委託して実施しないとできない部分もあり、予算の関係もあるが、今回をきっかけに再検討してもよいのではないか。再編も視野に入れてバス路線網の抜本的な見直しをする価値はあり、検討してほしい。

全会一致で案のとおり承認

5 その他

持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案について、別紙③をもとに中部運輸局愛知運輸支局 吉留氏より説明。

・【伊藤委員】法改正されることで、地域公共交通計画を作るのか。

→【平子主事】現在検討中。

→【伊藤委員】ぜひ検討してほしい。また、江南厚生病院へ行くバスがほしいという要望がある。

→【松尾会長】地域公共交通計画は、基本的な方針と課題の把握、目標、評価等を記載するもので、地域の方の意見等も反映される。